

四、珊瑚漁場調査

趣 旨

本縣沿岸及近海ハ地勢及海底形状及海流ノ狀況ヨリ見テ美術工藝用珊瑚ノ相當多量ニ存在スルコトヲ豫測セラル、ヲ以テ水産業者及企業者ノ中ニ之レガ漁業經營ノ希望ヲ抱クモノ數々アリ然ルニ全然無經驗ニシテ且ツ海況不知ノ海區ヲ操業シ多額ノ出資ヲ無効ニセシムルヲ防止スルト共ニ確實ノ企劃ヲナサシムル資料ヲ得ムトシ本場ニ於テ本縣珊瑚漁業ノ可能性ノ有無ヲ豫メ試験セムトシ本年新ニ着手シタリ

方 法

本試験ノ施行ニ當リ次ノ諸設備並方法ヲ選ベリ

使用船 千鳥丸（木製和洋折衷型五噸八馬力）

従業者 五 名

漁 具 漁具説明並全圖解参照

漁 法

別圖漁具一統ヲ使用シ水深ノ一倍半乃至二倍半ノ手綱ヲ漁具ガ海底ニ密着スル程度ニ加減シツ、潮流又ハ風力ニ依リ船ヲ出來ル丈深所ヨリ淺所ニ向ケ移動セシメテ漁具ヲ曳シ三〇分乃至二時間置ニ曳揚網ニカ、レル採集物ニ付調査セリ

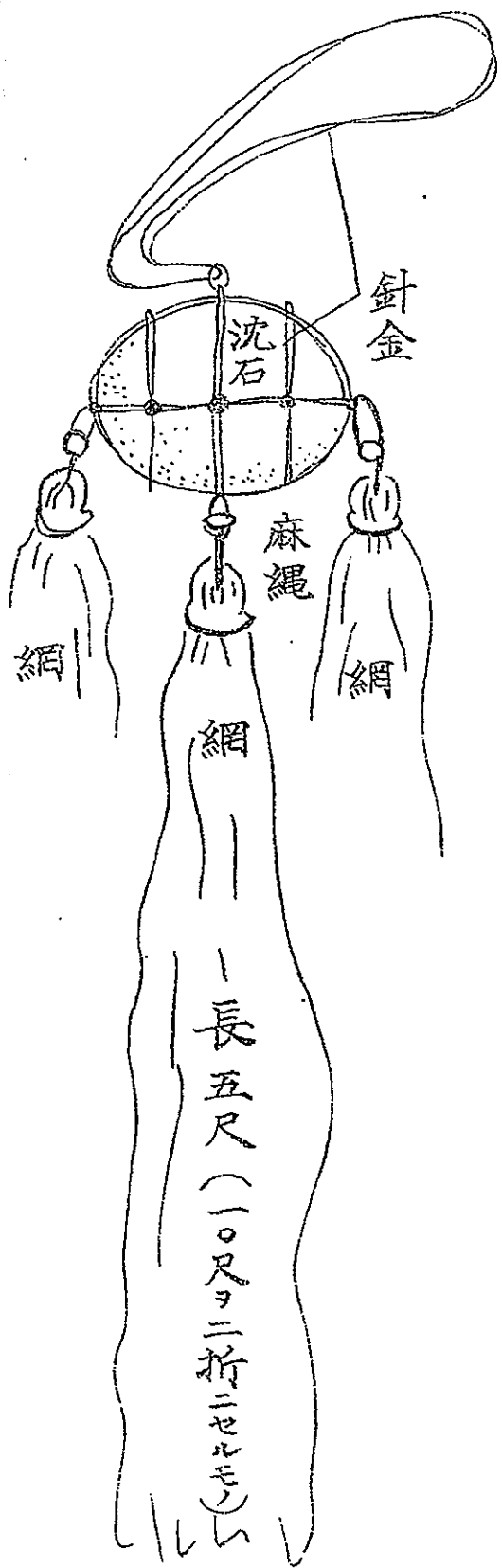
漁具説明

A

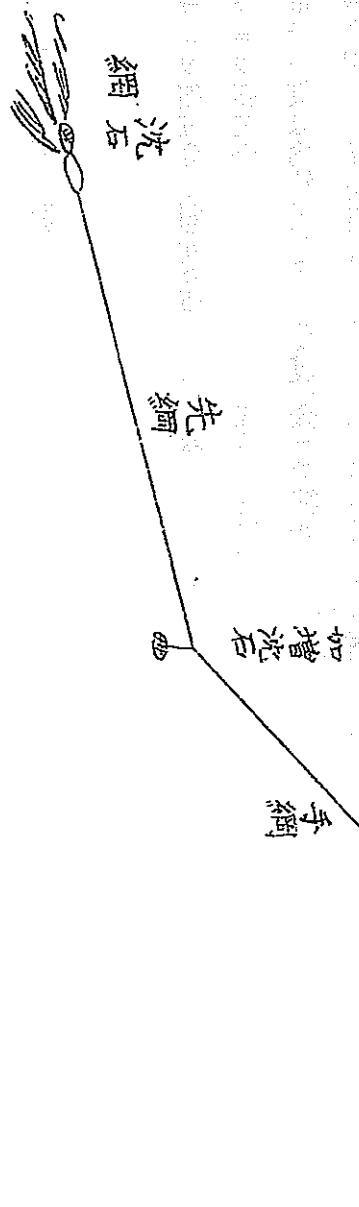
- 手網 マニラ徑五分—四分五厘 二百尋
- 先網 マニラ徑三分 一五尋—三〇尋
- 沈石 重量一貫匁内外ノ石ヲ一八番針金ニテ縛ル
- 網成 鱒流網 一五〇掛五尺ノモノヲ二ツ若ハ三ツヲ一括トセルモノ

網三括ヲ結着シタル石一個ヲ先網ニ接ギ之ヲ手網ニ結ブ曳網ヲ沈メル爲メ手網ト先網ノ間ニ網ヲ結着セザル沈石ヲ一個加増スル事アリ



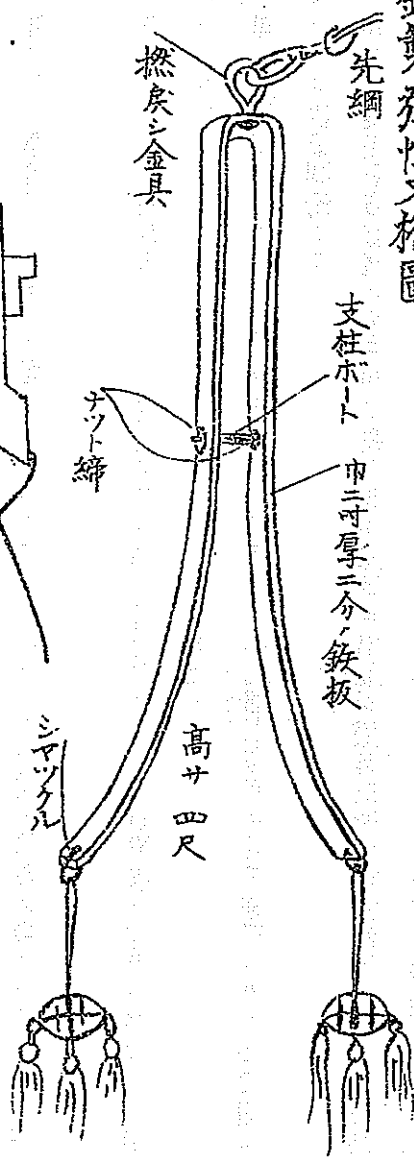


漁具構成 使用畧圖

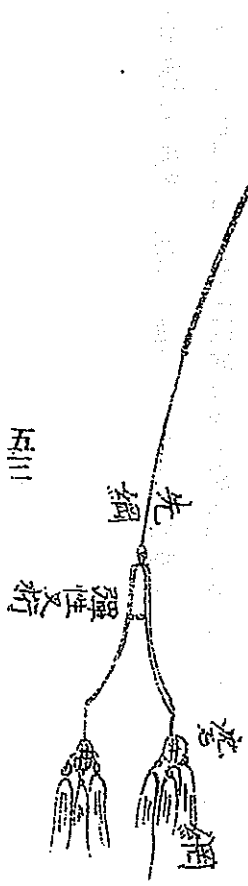


鉄製彈性叉桁圖

手網、先網、沈石、網ハAト全様ナルモノヲ使用シ網ヲ結着セル沈石ヲ左圖ノ如キ鐵製彈性叉桁ノ兩端ニ各一個宛計
 二個ヲ結着シタルモノヲ先網ニ接ギ更ニ手網ニ接イデ構成セリ



漁具構成使用畧圖



本調査ハ珊瑚ノ多量採取ヲ目的トセバ出來ル丈短期間ニ廣範圍ヲ細密ニ調査シ漁場ノ要素タル珊瑚ノ一片ヲ得レバ足ルモノトシテ着手セル爲メ從來本漁業ニハ特種ノロープヲ手製シテ使用シ網ヲ潮ニ抵抗セシメ或ハ網ニ彈力ヲ持タシメル等ヲ條件トセル爲メ海潮流ノ方向風位等ニヨリ操業能率ヲ阻害サル、事多キニ省ミ珊瑚漁場ガ絶對的ニ深所ヨリ淺所ニ向ヒ潮流ル、場所ニ限ラレザル以上網ガ底部ニ密着スルヲ第一條件トシテ標準能率本位ニ調査ヲ進メル必要ヲ感ジ其ノ意味ニ於テ豫算都合並製作手間等ヨリ見テ網類ハ先網ニモまにら製ヲ使用シタルモ大ナル支障ヲ認メズ尙操業ニ際シ風、潮ヲ度外視シテ網ノ曳航ニ機走ヲ試ミタルモ發動機ノ微速圓滑ナラズ且ツ船体小ナル爲メ惰力弱ク機力操業困難ニシテ結局海潮流ニ向ツテノ操業若クハ機力操業ニハ曳網ハ細キわいヤーヲ特種ノ彈力ヲ持タシテ網ヲ海底ニ届カシムルノ外無キモノト考ヘラル

尙B漁具ハ漁場探査漁具トシテハ重量ヲ増シ操業面積廣ク網ノ前面雜草ヲ押開キ雜草中ノ珊瑚ヲモ容易ニカ、ラセ岩礁ニ網ガカリシテモ彈力ノタメ脫離シ易カラシムル得點ヲ認メラレタリ

第一回ヲ豫備調査トシテA漁具ヲ使用シテ三月中ニ島尻郡東海區ニ於テ施行シタルモ乗組員操業未熟ノ爲メト豫期セザル潮流ノ爲メ操業圓滑ナラズ

第二回ヲ慶良間南方海區ニ第三回ヲ慶良間西海區ニ出動シ操業技術モ相當熟練シタルモ漁具單一ニテ調査抄ラザルタメ網數ヲ増スト同時ニ海底ノ岩礁ニ網ノカ、ルヲ避ケル目的ニテB漁具ヲ使用シ第四回ヲ伊平屋近海第五回ヲ久米島西近海ヲ調査セリ

採集物ハ大体次ノ如クナルモ未ダ眞正珊瑚ノ採集出來ザリシヲ遺憾トス

採集物大略

珊瑚虫類ニきんやぎ、ねぢれやぎ、いそばな、びはからいし、みどりいし、其他七兵工珊瑚等
 ヒドコ虫類ニひば。かや等ノ類

海百合類ニうみしだ等

海綿類ノ一部

海星類ニひとで、もづるノ類

海膽類ノ一部

今回ハ操業技術ノ練磨ト下調査ノ意味ニテ割合ニ廣イ區域ヲ船体小ナルタメ天候ニ支配サレツツ斷續且ツ普遍的ニ施行シタルモ右漁獲物中七兵工珊瑚ノ如キハ珊瑚漁場ニ密接ナル關係ヲ有シ本回ノモノハ特ニ硬度高ク良質ノモノニテ今後此等漁場ニ於テ細密ニ調査ヲ進メシ事ニ依ツテ目的達成ノ近キヲ知ルヲ得タリ

珊瑚漁場調査操業表

第一回

操業 月日	操業時刻	操業位置	水深 廣	漁 具	天候	風	潮	漁 獲 物	備 考
3 25	A M 9 30 " 11 00	流 S W 3 運 式 (1)	60内外	A 石 1	B	S E 0		灰 石	N E 槽走 移動運ク入替
"	" 11 20 P M 12 20	" 附近	"	" 石 2	"	"			N 槽走 移動運ク漁具坑下 續カズ入替
"	" 1 00 " 1 50	"	"	" 石 1	"	"			W 槽走

事	" 23日 那原ニ一沖 與那原發途中久高ニテ清水補給ノ上出漁 漁場ニテ2回操業湊川港入港	" 29日 湊川發 5 漁場ニテ1回操業雨模様ノタメ那 霸歸港
---	---	---------------------------------------

第 二 回

操業 月日	操業時刻	操業位置	水深	底質	漁具	天候	風	潮	漁獲物	備考
5	7 AM 8 40 " 9 40	盛間味島北西 近海 A	60内外		A石 1	B	ENE 3	SW	石灰石	風ト潮ニ横流シ
"	" 10 20 " 11 20	" 附近 B	70内外		"	"	E/N 3	"	"	"
"	" PM 12 20 " 1 40	" 附近 C	60内外		"	"	"	"	殆ド無シ	"
"	" 2 20 " 3 40	" 附近 D	70内外		"石 2	"	"	"	人手類多シ	"
5	9 AM 10 40	久場島西近海 E	60内外		A石 1	B	W 2	S	海松ノ類多シ	風壓ニ横流シ
"	" PM 1 35 " 2 43	久場島南沖 F	85内外		"	"	"	SW早	少シ	Nニ帆走スルモ潮強ク網 浮上ル事多シ
"	" 3 30 " 4 20	久場島南近海 G			A石 1	B	W 3	NW早	少シ	Nニ帆走W寄りニ流サル
5	10 AM 9 55 " 10 50	阿波連南沖 H	75内外		A石 2	C	NE 2	SW	極少シ石灰石	W-NW帆走

	"	A M 11 25 P M 1 30	" 附近	I	"	"	CR	"	S W N W	少シ	W S — W N W 帆走	
	"	" 1 40 3 00	" 附近	J	"	"	"	N E 1 N W	殆下無シ		N W 機走 綱時々浮上ル	
5 11	"	A M 10 30 11 50	阿波連南沖 6 哩	K		A 石 2	C B	E N 1 E W	S W	石灰丸石	W N W 帆走	
"	"	P M 12 35 2 15	" 8 哩	L	120	"	C	"	N / E 少シ	殆下無シ	N N W 帆走 百零線ニ向 ヘルモ綱肩カサルガ如シ	
"	"	" 2 40 3 55	" 7 哩	M		"	"	E / N 1	"	石灰石	N 帆走	
5 12	"	A M 8 55 9 50	久場島西沖	N	75内外	A 石 2	B	E S 1 E N 3	E 早シ		E — E N E 機走移動早過 キカリ	
"	"	" 10 25 11 00	"	O		"	"	"	"		同潮流高ク中止	
記	5月6日	那覇發座間味着										
	" 7日	座間味發同島西北沖ニテ 4回操業座間味へ引揚										
	5月8日	清水補給座間味發阿波連着天候悪ルク出漁 見合										
事	" 9日	天候快復阿波連發久場島西及南沖ニテ 3回										
	" 10日	操業シテ阿嘉へ引揚										
	5月11日	阿嘉發阿波連南沖ニテ 3回操業座間味入港 揚										
	12日	座間味發久場島西附近ニテ 2回操業潮ト風順 ナラズ操業意ノ如クナラズ中止那覇歸港										

第三回

操業 月日	操業時刻	操業位置	水深	底層	漁具	天候	風	潮	漁獲物	備	考
5 28	A M 8 28 " 10 00	ヤカソ島西 A	80-90	A	網石 1 洗石 1	R	S	3 S W	少ソ		機走ヲナセルモ潮風逆ニ テ網物海底ニ厩カズ中止
5 30	A M 9 00 " 10 15	座間味島北西 B	70内外	A	"	C	S	1 S W	ウニ多ク海松 其他		S W 潮 = 横流ソ
"	" 10 45 " 11 50	ヤカソ島北西 C		"	"	"	0	"			"
"	P M 12 30 " 2 00	"		"	"	B	N	"	七兵工さんご		"
5 30	" 2 30 " 4 00	"附近	75内外	"	"	"	"	"	ウニ其他少ソ		"中途ヨリ潮逆ナルヲ認ム
5 31	A M 10 10 " 11 40	渡名喜南 F	60内外	A	"	B	E N E 1				W 潮風 = 横流ソ
"	P M 12 30 " 1 50	"附近		"	"	"	"		七兵工さんご 白さんご様ノ モ		"
"	" 2 15 " 4 00	"	75内外	"	"	C	S E 2				
6 1	A M 9 40 " 10 45	"	55内外	A	"	B	E N E 2 S W		ウニ人手等多 ソ		
"	" 11 00 " 11 30	"		"	1 3	"	E	2 W S W			E N E = 機走スレドモ潮 風共ニ逆ニテ操業困難ナリ

6	A M 11 40 P M 1 20	波名喜島南R	105 内外	A 細石1 沈石3	B	S E 2	W S W	七兵卫其他 ツダ類	潮風 = 横流シ
"	" 2 00 3 15	" 附近	75内外	" 1	C	"	"	七兵卫さんご 白さんご様ノ モ	燒玉故障 = チストツツ直 後投下潮 = 横流シ
"	" 4 00 4 30	"	"	"	"	S S E 3	"	ナツ	

事 記	5月27日	那霸發座間味入港		31日	座間味發波名喜南近海 = テ三回操業座間味 歸港		
	28日	座間味發ヤカソ島西へ出帆セルモ風雨ノク メ操業中途ニテ座間味へ引返ス		6月1日	座間味發那霸歸港		
	29日	天候悪シク出漁見合セ船底掃除ヲナス					
	30日	座間味發座間味北西近海並ヤカソ島北西附 近ニテ四回操業座間味へ引揚					

第四回

操業 月日	操業時刻	操業位置	水深	廣	漁 具	天候	風	潮	漁 獲 物	備	考
6 26	A M 9 25 " 10 45	伊江島南近海 1	60内外		B	B	O	O	石灰質ノコロ石	N W = 機走	
"	P M 12 05 " 2 10	伊江島西近海 2	70内外		"	"	O	N E		E N E = 潮流シ	

6 26	P M 3 35 " 5 00	" 附近	3		B	B	S S E 1	N W		
6 27	A M 8 05 " 9 20	"	4	65内外	B	B	S	3 N E	ウ = 人手多シ	N E 風流シ
"	" 10 40 P M 12 20	"	5	90内外	"	C	S	3		
6 29	A M 10 35 P M 12 35	"	6	80内外	B	B	S	2	ウ = 人手多シ	
"	" 2 55 " 3 55	"	7	75内外	"	"	S	3	みどりいし びはがらいし等	
6 30	A M 11 00 P M 12 30	伊平屋島南	8	65内外	B	B	S	2		
"	" 1 00 " 2 00	" 附近	9		"	C R	S S W 3		海松其他	
7 2	A M 10 00 " 11 05	伊平屋島西10			B	C	S	2 S W	ウ = ノミ	
"	" 11 40 P M 1 25	"	11	80内外	B	"	S 2-3	W S W		
"	" 1 40 " 2 40	" 附近	12	75内外	"	"	S	3 W / S		風堅流多ク機走ヲナス

6月26日 名瀬發伊平島南及間西近海 = テ三回操業同
島西沖碇泊 記

27日 前日附近 = テ二回操業天候悪シク中止本部
ニ引揚グ

28日	風強ク出漁見合清水補給	2日	伊是名發伊平屋島近海ニテ三回操業波高ク 操業意ノ如クアラズ中止伊是名へ引揚グ
29日	本部發伊江島西ニテ二回操業風強ク本部ニ 引返ス	3日	伊是名發名懸着
30日	本部發伊平屋南近海ニテ二回操業風雨強ク 伊平屋島伊是名港入港	4日	名懸發那爾歸港
7月1日	風波強ク出漁見合セ		

第五回

操業 月日	操業時刻	操業位置	水深	底質	漁具	天候	風	潮	漁獲物	備	考
7 19	A M 8 50 P M 1 25	久米島北西 1 近海	60— 100		B	B	E / N 1 E N E 2	W S W	海松七兵工さんゴ 石灰石片小々		S 潮風ニ横流シ 沖合ヨリ S S Eニ陸ニ向 ケ帆走スルニ横潮ノタメ 漁具時停トナル
"	" 2 00 " 4 10	" 附近 2	90内外		"	"	E N E 2	"	石灰石		
7 20	A M 9 40 P M 12 20	久米島南西 3 近海	80内外		B	B	N W N 2	S S E	石灰石		
"	" 0 55 " 4 50	" 附近 4	70—90		"	"	N W 2	"			E へ潮流シ
7 23	A M 10 30 P M 12 30	飛原島南近海 5	50—60		B	C	N E 3	S S E	石灰石		N へ潮流ニ逆流シサネリ 高シ
7 25	A M 9 00 " 10 10	飛原島東近海 6	50—60		B	B	S 3		石灰石少々		

"	10 40 PM 12 40	" 附近	7	"	"	S S E N E 2	"
"	" 1 10 3 00	" 附近	8	"	"	"	"
"	3 40 4 55	飛原島南近海	9	60内外	"	S E S N W	少シ

記	7月17日	那覇發渡名喜島寄港					
	18日	渡名喜發久米島隣間港着					24日 風強ク出漁見合セ避難所へ移泊ス
	19日	隣間港發久米島北西近海ニテ二回操業隣間引揚					25日 隣間發飛原島東ニテ四回操業隣間引揚
	20日	隣間發久米島南西近海ニテ二回操業隣間離港					26日 隣間發久米島東近海ニテ操業ノ豫定ナルモ波高ク澳武避泊
	21日	風雨ニ強ク出漁見合セ清水補給					27日 東風強ク出漁見合セ
	22日	天候悪シク出漁見合セ					28日 南方海上低気壓發生ノタメ當分見込ミ立タズ那覇へ向フ途中プロペラ故障ニテ引返ス
	23日	隣間發飛原島南ニテ一回操業風強ク中止隣間へ引返ス					29日 奥武發那覇歸港

一、漁況通信

縣下各漁業地ノ漁況ヲ知り圖南丸ノ試驗調査ト綜合シ其ノ目的達成ヲ助長シ併セテ之ヲ取纏メ縣下各漁業地ニ通報シ斯業經營上ノ參考ニ供セントシ左ノ通ニ實施セリ

漁況通信依頼地

縣内 本郷渡嘉敷宮古八重山

縣外 枕崎

漁況通報先

縣内各漁業團體並沿海町村

漁況通信取纏メ並通報回数 月一回以上

五、海洋調査

一、海洋横斷観測

前年度ヨリ引續キ全國協定ニ基キ海況ノ消長ヲ詳ニシ漁況ト綜合シ合理的ニ魚族ノ動靜ヲ豫知セントス、本年度ニ於テハ都合ニ依リ豫定ノ観測ヲ缺測セルタメ海軍水路部中央水試各府縣連絡シテ行ハル、日本近海一齊調査ニ参加左ノ通り施行セリ

使用船 圖南丸

観測線 那覇港外ヲ基點トシテ北西三百哩

(本場ノ豫定線ヲ百哩延長セリ)

観測方法

観測線一五等分點一六點ニ於ケル「プランクトン」採集、透明度、観測、底質、採取並表面